

新規就農先輩の軌跡 No.49

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：杉本 隆則 住所：養父市内 年齢：38歳</p>	<p>農地：80a（借地40a） 施設：ビニールハウス18棟・33a 経営内容：花壇苗 40万ポット 栽培品目：ガーデンシクラメン、チッカーベリー、モジ葉ゼラニウム、エリカ類、プリムラ等 労働力：本人、父、母、雇用3名 出荷先：花き市場</p> 
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>1996年 園芸専門学校卒業と同時に就農 標高700mの高原部にビニールハウスを設置 1997年 平坦地にビニールハウスを増設 現在に至る</p>	<p>○良かった点 自分の考えをそのまま経営に活かせる。 ○苦労した点 就農当時、農地の確保に苦労した。夏季の冷涼な気象を活かせる栽培品目の選定や栽培体系を確立するため何年もの時間とコストを費やした。</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>農高時代の現場実習で温室一面に並ぶシクラメンを美しく仕上げていく高い技術について学び、花き経営に魅力を感じ、将来性のある職業だと感じたことが就農への原点となった。</p>	<p>・先輩農家のアドバイス 市場調査や先進事例視察、先輩農家や仲間との交流を通じて多くの情報を収集し、技術向上を目指したり、販路拡大につなげてください。</p>